

三育だより

2024年12月24日発行

2024年度第2号

学校法人三育学院 東京三育小学校

〒177-0053 練馬区関町南2-8-4

TEL 03-3920-2450

URL <https://www.tokyosaniku.ed.jp/>



校訓「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」(口語訳聖書)

「12月25日は一番傷つく日？」

学校長 平田 理(ひらた まこと)

12月。街中には多くのイルミネーションが煌めき、クリスマスソングのBGMが流れています。三育系列校においてもクリスマス礼拝、チャリティーコンサートなど賛美音楽を通じてクリスマスの本当の意味を考え、キリストの誕生を感謝し祝う時間が多く流れます。例年のことではありますが、児童が賛美する清らかな歌声に心が洗われるような気持ちになるのはご家族や私だけでは無いと思われれます。

先日、ラジオ番組で流れてきた歌詞を聴きながら、クリスマスの時期に流れるラブソングかあと聞き流しそうになった曲が、チャーリー・プース(Charlie Puth:米国男性歌手)の「December 25th」でした。あまりにもズバリなタイトルでしたし、内容が失恋だったこともあって、人恋しい季節特有の「はやりの曲」の印象でした。しかし、「December 25th is the day that always hurts me the most, 12月25日は、いつも一番傷つく日」の歌詞が耳に入った時、クリスマスは嬉しい時、楽しいだけの日では無いことを、改めて気づかされたような気がしたのです。

歌詞にある大切な人との別れで「一番傷つく日」だけではなく、私たちににとっては、折角お越しになったキリストが十字架の死によって去り、落胆したことを思い出す日でもあると感じました。単なるこじつけか、青春へのノスタルジアかとも思いつつ、本名チャールズ・オットー・プース・ジュニア(33歳)の育った背景を調べてみました。

カトリック教徒の父とユダヤ教徒の母に育てられた少年は幼いころからピアノに親しみながら音楽の才能を磨き、12歳の時に初めて作曲した「Have a Merry Charlie Christmas」を携え、ご近所を訪問して得たチャリティー募金を全額、教会に献げたエピソードが残る歌手でした。幼いチャールズ少年が多くの教会音楽に触れ、奉仕活動にも勤しんだであろうことは想像に難しくありませんし、名門バークレー音楽大学進学のも動機付けにも繋がったのかも知れません。試しに「December 25th」の歌詞に登場する幾つかの「She」や「You」(彼女)を、「Jesus」や「He」に置き換えると、まるでクリスマスソングの歌詞のようで、人気ミュージシャンのチャーリー・プースの創作活動にも幼い時代の記憶や感情が、色濃く反映されているのではないかと感じました。

クリスマスは、イエス・キリストの降誕を祝い、再びお目にかかることを考える喜ばしい季節です。それと同時に、

「Merry Christmas」の「嬉しい」の土台になっているイエス・キリストの十字架の「痛み」「傷」にも思いを馳せ、「一人静かに過ごす」時でもあるのです。「一番傷ついたイエス・キリスト」を思い起こす時、「12月25日は一番傷つく日」は真実であり、一番待ち遠しい日となります。



Tokyo San-iku Elementary School

Since 1898

東京三育小学校

校内行事報告

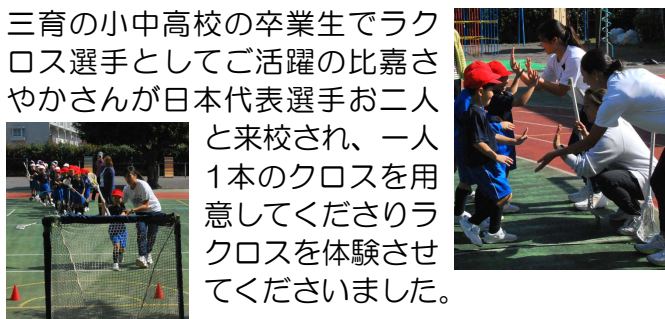
社会科見学

1～2年生は11月に「明治製菓工場」へ、3～4年生は9月に「警視庁」「羽田空港ターミナル」「中央防波堤埋立処分場」へ、5～6年生は10月に「最高裁判所」「科学技術館」へ行きました。見て、聴いて、触れて、感じて、そして振り返り学習をして、学びを深めた全学年の社会科見学でした。



ラクロス体験

三育の小中高校の卒業生でラクロス選手としてご活躍の比嘉さやかさんが日本代表選手お二人と来校され、一人1本のクロスを用意してくださりラクロスを体験させていただきました。



移動教室(4～5年生)



群馬県で2泊3日の宿泊学習を行いました。寝食を共にし協力し合い、様々な活動をしました。互いに相手の気持ちを考え、行動し、祈り合うことを通して、子どもたちは大きく成長しました。

いのちの授業(2年生)

三育学院大学看護学部・東京校舎において、どのようにお母さんのお腹の中で成長するのか、また心臓の働き等、大学の先生から説明を聞きました。3,000gの赤ちゃん人形を抱っこしたり、服を着替えさせたり、自分の心臓の音を聴いたり、



脈をとったりして、命を与えてくださった神様への感謝と、育ててくれているお家の人への感謝の言葉が子どもたちから出ました。

祈 禱週



世田谷教会牧師・亀甲山教会副牧師の松下晃大先生による祈禱週でした。総題は「イエス様の道」。ヨハネによる福音書14章6節「わたしは道であり、真理であり、命である。」を中心

聖句としてお話しくださいました。昼休みには子どもたちと教職員が積極的に祈りの時間をもちました。「イエス様の道を歩めますように」とお祈りする子どもたちが多くいました。



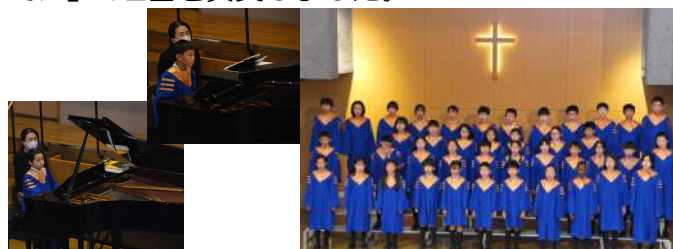
クリスマス礼拝

礼拝のテーマは「Give Thanks～あふれるほどの感謝」。1～2年生による降誕劇、3年生以上は暗唱聖句と賛美をお捧げしました。御子イエス様をお与えくださった神様への感謝、会衆にイエスさまの愛を伝えるメッセンジャーとして神様に用いていた



三 育クリスマス

三育学院中等教育学校と4～6年生合同で、天沼教会において行われました。三育学院中等教育学校からは聖歌隊とハンドベルコワイヤーが参加しました。卒業生、友人も集い、賛美の歌声と、ハンドベルの美しい調べが響きました。三育学院中等教育学校チャプレンより福音のメッセージが語られました。本校は「昔のベツレヘム」「あらののはてに」の2曲を賛美しました。



2学期をお祈りでお支えくださり感謝いたします。12月25日～1月6日は冬期休暇となります。皆さま佳いお年をお迎えください。